



# ケアマネジメントを担う人材育成に関する研究

保健福祉学部 人間福祉学科

教授 金子 努 (かねこ つとむ)

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 4423号室  
Tel 0848-60-1176  
E-mail kaneko@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 社会福祉, ケアマネジメント

キーワード： ケアマネジメント, リスクマネジメント  
地域包括ケア, スーパービジョン

## ● 現在の研究について

ケアマネジメントを担う人材育成に関する研究を行っている。現在、地域包括ケアシステムを構築していくことが各自治体に求められているが、住み慣れた地域社会で最期まで暮らせるような仕組みを整備することは、地域住民の共通する願いでもある。それを実現するうえで有効なプログラムがケアマネジメントであり、なかでもそれぞれのもつ強みに着目し、限られた資源を有効に活用することで、費用対効果も期待できるストレンクス・モデルの活用が関心を集めている。

しかしながら、現行の高齢者分野におけるケアマネジャー養成に係る研修では、ストレンクス・モデルの実施に係る内容をほとんど扱っておらず、ストレンクス・モデルを実践できるケアマネジャーは限られている。

こうした状況を踏まえ、ストレンクス・モデルをはじめ、ニーズに合わせ適切なケアマネジメント・モデルを使い分けのできる人材の育成に関する研究を行っている。

具体的には、人材育成の一つとして事例検討会に着目し、事例そのものに焦点を当てた事例検討会ではなく、事例提供者に焦点を当てスーパービジョンの観点から行う事例検討会の開発と普及に関する実証的な研究を、現場の実践者と共に行っている。

## ● 今後進めていきたい研究について

各自治体は、介護保険料などの高騰を抑制し、限られた社会資源を有効に活用しながら、住民主体の自治体運営を求められることから、ケアマネジメント・プログラムの導入とその積極的な活用が期待される。

今後、こうしたことに応えられる研究を自治体、民間事業者等と協働して行っていく。特に、都市型のモデルではなく、比較的小規模な地方都市での活かせるモデルの開発を行っていく予定だ。

## ● 地域・社会と連携して進めたい内容

ケアマネジメントは、既存の社会資源の活用にとどまらず、必要に応じて既存の仕組みの見直しや新たな社会資源の開発も行うプログラムである。

自治体等の従来の仕組みの見直しや新たなモデル開発を、ケアマネジメント・プログラムを活用して行っていきたいと考えている。

また、各地域の介護支援専門員協会などとも協働し、ストレンクス・モデルをはじめとする各種ケアマネジメント・モデルをニーズに合わせて適切に活用していくための研修プログラムの開発を行っていきたいと考えている。

## ● これまでの連携実績

(1) NPO 法人広島県介護支援専門員協会と共催でケアマネジャーを対象とした社会人学び直し講座を開催 (2006-2008)。

(2) 安芸高田市からの受託研究事業で「市民総ヘルパー構想」(2011) をとりまとめた。

(3) 「乳幼児期から成人までの一貫した子育て支援体制の構築」(2006) に取り組み、『8人の子育てからみえてくる支援』久美 (2008), 出版。

